

令和2年3月26日

厚生労働省保険局医療課長 森光敬子様  
厚生労働省医政局医事課長 佐々木健様  
厚生労働省医薬・生活衛生局総務課長 鳥井陽一様

新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いにおける  
「慢性疾患等」の取扱いに関する周知の要望

(一社) 全国がん患者団体連合会  
理事長：天野慎介

新型コロナウイルス感染症については現在、都市部を中心に感染者数の増加傾向がみられ、不要不急の外出を控えるよう求める措置などがとられています。厚生労働省におかれましては、感染の拡がりに対して様々な臨時的施策を実施いただいております。その効果が期待される所ですが、今後の状況によっては、いわゆるオーバーシュート（感染爆発）が発生する可能性が危惧されており、医療機関への患者の集中やいわゆるロックダウン（都市封鎖）などが生じる可能性もあることから、その対応にも備える必要があると考えられます。

新型コロナウイルスの感染による重症化のリスクがある者として「がん患者」も含まれていますが、例えば、ホルモン感受性陽性の乳がん患者や前立腺がん患者、甲状腺がん患者に対する内分泌療法、慢性骨髄性白血病患者や消化管間質腫瘍患者に対するイマチニブなど、患者の中には比較的安定した状態で経口の薬物療法を継続している者がおります。当該患者においては、医師の適切な判断を前提として、感染の拡大防止の観点から、電話や情報通信機器を用いた診療による薬剤処方も必要となっており、厚生労働省からも、令和2年2月28日の事務連絡（別紙1／別添1参照）「慢性疾患等を有する定期受診患者等が継続的な医療・投薬を必要とする場合に、電話や情報通信機器を用いた診療によりファクシミリ等による処方箋情報の送付等」において、「医師が電話や情報通信機器を用いて診療し医薬品の処方を行い、ファクシミリ等で処方箋情報が送付される場合、保険医療機関は、電話等再診料、処方箋料を算定できる」とされています。

しかしながら、表記の「慢性疾患等」の取扱いが、「糖尿病や高血圧などの慢性疾患のみとする」など、自治体や医療機関などによって、その取扱いが異なっているという課題が生じております。これらの薬剤は、患者の生命、生活の質を支え、改善するために大切な治療薬です。「感染の拡大防止」と医療機関の負担軽減という本事務連絡の主旨が周知され、地域間や医療機関によってその取扱いに差異が生じることを防ぎ、不利益などが生じることのないよう、以下の事項の周知徹底について要望させていただきます。

記

・「慢性疾患等」の定義に「がん」が含まれていることを各自治体に対して周知をし、医師の適切な判断を前提として、情報通信機器を用いた診療、処方情報の送付が適切に行われ、地域間や医療機関によってその取扱いに差異が生じることが無いように、要望します。

以上

令和2年4月9日

神奈川県知事 黒岩 祐治 様

一般社団法人神奈川県がん患者団体連合会  
理事長 天野 慎介

### **医療機関向けマスクの確保と配布に関する要望書**

知事におかれましては、神奈川県における医療提供体制の確保をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策の推進にご尽力をいただき、御礼申し上げます。

神奈川県においては、政府の改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言の対象地域に指定され、神奈川県内での感染爆発の可能性も危惧される中で、神奈川県内の医療機関等において医療関係者の方々が日々、懸命に医療現場で対応にあたられています。

しかし、神奈川県内の大学病院の中には「マスクが3日に1枚」「そのマスクも近日なくなる見込み」という状況で、医療関係者の方々が新型コロナウイルス感染症をはじめ様々な診療にあたっている医療機関があるなど、医療現場では医療関係者を守るべきマスクが未だに不足しており、充足される目途も明らかではありません。

現在の状況では、医療現場の最前線で新型コロナウイルス感染症と闘う医療関係者の方々の命を守ることが出来ません。医療関係者の方々の命を守れないことは医療崩壊に繋がり、新型コロナウイルス感染症はもちろんのこと、がんやその他様々な命に関わる疾病の治療も困難となることを意味します。県内ではすでに、がんやその他の様々な疾病の手術や薬物療法等の延期を実施または検討している医療機関が出てきています。

神奈川県におかれましては、マスクの増産や確保を目指した国の施策とも連携し、すでに対策をとっていただいているものとは存じますが、県内での感染爆発の可能性も危惧される中で、医療機関向けマスクが未だ確保されていない状況に鑑み、医療関係者の命と、新型コロナウイルス感染症や様々な命に関わる疾病の患者を守るために、以下の要望をいたします。

#### 記

- 神奈川県内の医療機関等におけるマスクの充足状況を調べ、不足している神奈川県内の医療機関に対しては、速やかにマスクの確保と配布を行うこと。
- 国に対して、医療機関におけるマスクの確保と配布に向けて、さらなる要望を行うこと。
- 国の施策とは別に、神奈川県内の医療機関におけるマスクの確保と配布に向けて、神奈川県独自の対策を速やかに実施すること。

以上

# 「新型コロナウイルス感染症に関するオンライン緊急セミナー」(1)の開催

- 収録日時: 2020年4月20日(月)21時～
- 講師: 佐々木 治一郎 氏  
(北里大学集学的がん診療センター長・病院長補佐)
- モデレーター: 天野 慎介 氏  
(一般社団法人全国がん患者団体連合会理事長)
- 主催: 一般社団法人全国がん患者団体連合会
- 協力: キャンサーソリューションズ株式会社

新型コロナウイルス感染症に対するがん患者のリスクや治療開発の現況、発熱時の対応や治療や検査、経過観察が延期についての考え方など、事前にお寄せいただいた多くのご質問にご回答いただきたいた。

当日はZoomで配信し、後日期間限定で一般にも動画公開(5月7日まで／情報が古くなるのを避けるため)



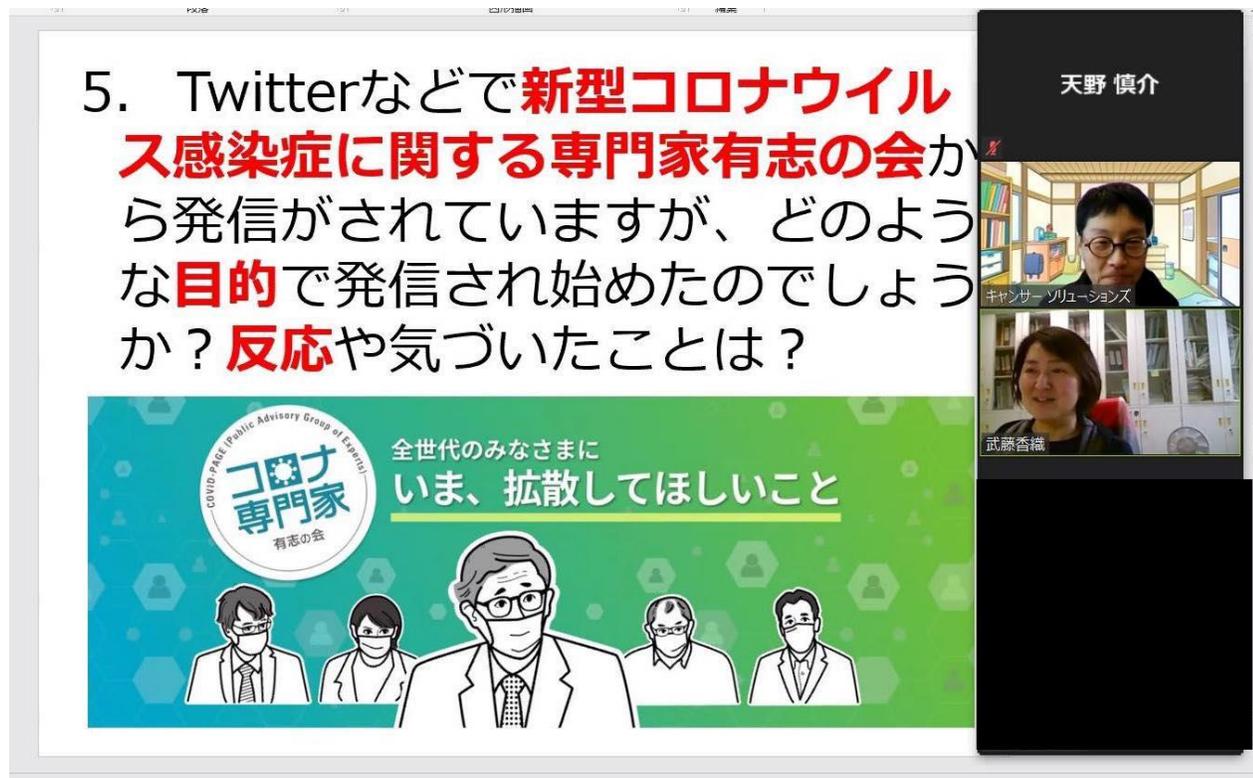
(当日のZoomでの配信の様様)

一般社団法人全国がん患者団体連合会Facebookより

## 「新型コロナウイルス感染症に関するオンライン緊急セミナー」(2)の開催

- 収録日時: 2020年4月24日(金)13時～
- 講師: 武藤 香織 氏  
(東京大学医科学研究所公共政策研究分野教授)
- モデレーター: 桜井 なおみ 氏  
(一般社団法人全国がん患者団体連合会理事)
- 主催: 一般社団法人全国がん患者団体連合会
- 協力: キャンサーソリューションズ株式会社

専門家会議での議論、いわゆる「3密」についてのポイント、Web調査の結果や新型コロナ専門家有志の会によるnote・Twitterでの発信、診療制限に伴う倫理的な課題や偏見の防止などについてお話をいただいた。当日はZoomで配信し、後日期間限定で一般にも動画公開(5月3日まで／情報が古くなるのを避けるため)



(当日のZoomでの配信の様様)

一般社団法人全国がん患者団体連合会Facebookより

# 「新型コロナウイルス感染症に関するオンライン緊急セミナー」(3)の開催

○日時: 2020年5月4日(月)19時～

○講師:

・平井 啓 氏

(大阪大学大学院人間科学研究科准教授)

○モデレーター:

・天野 慎介 氏

(全国がん患者団体連合会理事長)

・古谷 浩 氏

(全国がん患者団体連合会ピアサポート委員会)

○主催: 一般社団法人全国がん患者団体連合会(ピアサポート委員会企画)

○協力: 一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン

○テーマ: がん患者や家族の皆さまに対する精神的なサポートについて

## 「隔離」状況下で何が起きるか？

- 意味のある活動・感覚的な刺激・社会的な関わりなどの低下
- 働けないことによる経済的負担
- 普段ならできるストレス対処方略（飲み会の開催、ジムに行く、宗教的行事に参加するなど）がとれないこと



参考: アメリカ心理学会 (APA) . Keeping Your Distance to Stay Safe. 日本心理学会訳

(当日のZoomでの配信の様様)

一般社団法人全国がん患者団体連合会ホームページより

## 「新型コロナウイルス感染症に関するオンライン緊急セミナー」(4)の開催

- 日時: 2020年5月10日(日)19時~20時
- 講師:
  - ・新城 拓也 氏  
(しんじょう医院/神戸市北区)
  - ・塩川 ゆり 氏  
(訪問看護ステーションあおいそら/神戸市中央区)
- モデレーター:
  - ・轟 浩美 氏  
(認定NPO法人希望の会/全国がん患者団体連合会政策提言委員会)
- 主催: 一般社団法人全国がん患者団体連合会
- 協力: 一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン
- テーマ: 主にがん患者や家族の皆さまを対象とする「在宅医療」について



塩川ゆり氏(左)と新城拓也氏(右)

一般社団法人全国がん患者団体連合会ホームページより

# 「血液腫瘍患者さんのための新型コロナウイルス感染症オンラインセミナー」の開催

○日時

2020年5月1日(金)19時～ (Zoomで配信)

○講師

森 勇一 氏(佐久医療センター血液内科)

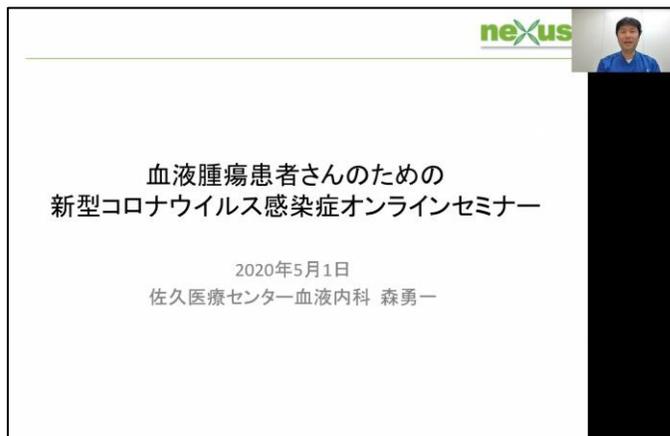
○モデレーター

天野 慎介 氏(グループ・ネクサス・ジャパン)

○主催

一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン

血液がん患者や造血幹細胞移植を受けた患者が感染した場合のリスク、治療中や経過観察中に感染を疑う症状が出た場合の対処法、治療が延期となった場合、電話やオンラインでの診療、入院中の患者への面会制限など、事前にお寄せいただいた多くのご質問にご回答いただきました。



血液腫瘍患者さんのための  
新型コロナウイルス感染症オンラインセミナー

2020年5月1日  
佐久医療センター血液内科 森勇一



森勇一先生への質問

質問1  
血液がん患者が  
新型コロナウイルス感染症に罹患した場合  
リスクは、高いのでしょうか？



ESMO > Guidelines > Cancer Patient Management during the COVID-19 Pandemic  
ESMO MANAGEMENT AND TREATMENT ADAPTED RECOMMENDATIONS IN THE COVID-19 ERA: INDOLENT B-NHL (FOLLICULAR LYMPHOMA, MARGINAL ZONE LYMPHOMA, WALDENSTRÖM'S MACROGLOBULINAEMIA)

Cancer patient prioritization

Priorities for Indolent B-NHL (Follicular Lymphoma, Marginal Zone Lymphoma, Waldenström's Macroglobulinemia) patients

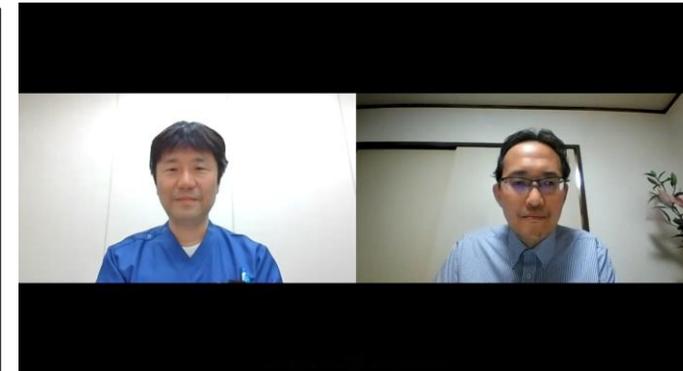
High Priority

- In indolent B-NHL, the threatening situation arises, but might occur as a compression of a vital organ, CNS involvement in Waldenström's Macroglobulinemia (Waldenström). Under these circumstances, the pros and cons of an immediate versus delayed treatment should be evaluated thoroughly and decisions have to take into account the individual patient situation
- Chemotherapy schedules may be modified to reduce immunosuppression or to minimize the necessity of critical visits
- Consider G-CSF support to minimize risk of neutropenia
- Radiotherapy with curative intent

Medium Priority

- In advanced High Indolent B-NHL patients should follow a watch & wait strategy whenever possible
- Patients in need of treatment should generally receive treatment following standard guidelines
- Less immunosuppressive treatments should be preferred as treatments requiring less clinical visits
- In the case of seropositivity for COVID-19, treatment should be delayed until seropositivity is no longer present. Patients on treatment with conversion to seropositivity for COVID-19 but without symptoms should be carefully monitored on the clinical or severe situation. When patients develop COVID-19 symptoms treatment should be stopped

「進行期低悪性度リンパ腫は可能な限り無治療経過観察を」



Zoom meeting screenshot showing two participants in a video call.

 YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=ZKBv5Hmixs8>

# Web会議システム（Zoom）を用いた「リンパ腫オンライン交流会」の開催

## ○開催日時（2020年3月～4月実績）

- ・2020年3月6日（金） 10:00～11:30
- ・2020年3月14日（土） 10:00～11:30
- ・2020年3月24日（火） 10:00～11:30
- ・2020年4月5日（日） 10:00～11:30
- ・2020年4月15日（水） 10:00～11:30
- ・2020年4月26日（日） 10:00～11:30

## ○対象

リンパ腫の患者または家族の皆さま

## ○主催

一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン

## ○各回のスケジュール

- ・10:00～10:40 開会挨拶と全体交流会
- ・10:40～10:50 休憩とグループ分け
- ・10:50～11:30 グループ別交流会

（グループ分けは「ブレイクアウトルーム機能」を活用



一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパンFacebookより